

年度高圧ガス施設検査結果報告書

年 月 日

施設名称		事業所名	
検査期日	年 月 日 ~ 年 月 日	所属名及び報告作成者名	

I 全般的事項（貯槽に係るものを含む。）

検査項目	異常の有無（有の場合は、補修等の概況）	検査項目	全数	検査個数	補修等の措置数	補修等の概況
施設周囲の状況		安全装置（安全弁・逃し弁）		()		
防火設備		安全装置（破裂板）		()		
保安用不活性ガス・用水・保安電力等		圧力計		()		
除害設備・保護具等		温度計		()		
電気設備等（防爆性・接地抵抗等）		液面計		()		
自動制御装置（インターロック機構等）		ガス漏えい検知警報設備		()		
導管（敷設状況、保安装置等）		緊急遮断装置		()		
施設の気密試験		機器の不同沈下等		()		

* 「導管」の欄は、導管のない場合は構内配管と読み替えること。

* 「検査個数」は、施設ごとの数とする。安全弁、圧力計、温度計、貯槽・塔槽類は外観、気密検査も含む。（ ）内について、安全弁は作動検査台数、圧力計・温度計は比較校正検査台数、貯槽・塔槽類は開放検査基数とする。

II 機器の検査結果

1 総括表：当該施設ごとの全器数について記載する。

機器の種類	① 貯槽 （貯蔵を目的とするもの）	② 反応器	③ 塔 （直立円筒形で①②以外のもの）	④ 槽 （①②③以外 の中間槽）	⑤ 熱交換器 （気化、凝縮等を含む。⑥を除く）	⑥ 加熱炉	⑦ 回転機 （圧縮機、ポンプ等）	⑧ その他 （ ）	⑨ 総計
全器数									
検査を実施した器数									
開放検査をした器数									
異常の認められた器数									
補修等を施した器数									

* 「補修等」とは、溶接補修、取替え、廃棄、運転条件変更、合せ材修理等の措置を示す。

* 「開放検査」とは、機器を開放又は分解して、内部又は外部の欠陥の有無を、非破壊検査（MT、PT等）により確認することを示す。

